

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	受講者の日本語能力を考慮しながらさまざまな教材やプリントを用い、日本語の総合的な読解（文字・語彙・文法）力を高めていく。受講者の活発な質疑応答を期待する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 学習課題 復習：オリエンテーションの確認 予習：「文法1」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>2 文法1 平易な教材を読み進めながら、文法力を高める。 学習課題 復習：「文法1」の確認 予習：「文法2」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>3 文法2 平易な教材を読み進めながら、さまざまな文法を理解する。 学習課題 復習：「文法2」の確認 予習：「短文読解1」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>4 短文読解1 日本語の平易な短文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題 復習：「語句の意味と使い方」の確認 予習：「短文読解2」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>5 短文読解2 日本語の平易な短文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題 復習：「新しい文型、文構成」の確認 予習：「短文読解3」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>6 短文読解3 日本語の平易な短文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題 復習：「必要な情報」の確認 予習：「短文読解4」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>7 短文読解4 日本語の平易な短文を読み、内容を理解する。 学習課題 復習：「内容」の確認 予習：「短文読解5」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>8 短文読解5 日本語の平易な短文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題 復習：「つかんだ論点、要旨」の確認 予習：「長文読解1」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>9 長文読解1 日本語の平易な長文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題 復習：「語句の使い方」の確認 予習：「長文読解2」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>10 長文読解2 日本語の平易な長文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題 復習：「新しい文型、文構成」の確認 予習：「長文読解3」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>11 長文読解3 日本語の平易な長文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題 復習：「必要な情報」の確認 予習：長文読解4」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>12 長文読解4 日本語の平易な長文を読み、内容を理解する。 学習課題 復習：「内容」の確認 予習：「長文読解5」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>13 長文読解5 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。</p>

	<p>14 学習課題 復習：「つかんだ論点、要旨」の確認 予習：「総合実践Ⅰ」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>総合実践Ⅰ 日本語留学試験、日本語能力試験の備え模擬テストをする。</p> <p>15 学習課題 復習：模擬テストでできなかった問題の見直し 予習：「総合実践Ⅱ」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>総合実践Ⅱ 日本語留学試験、日本語能力試験に備え模擬テストをする。</p> <p>学習課題 復習：模擬テストでできなかった問題の見直し 予習：定期試験の準備</p>
授業形態	演習
到達目標	<p>① 日常的な話題についての文章を読んで、内容がだいたい理解できる。</p> <p>② 日常的な話題についての記事を読んで、論点や要旨がだいたい理解できる。</p> <p>③ 日常的な場面での文章を読んで、必要な情報がとれる。</p> <p>④ 現代日本語の基礎的な文法がだいたい理解できる。</p> <p>⑤ 理解した文法を、日常的な表現活に生かすことができる。</p>
評価方法	平素の学習意欲を重視し、学習状況並びに試験などにより行う。 日頃のノートについても随時点検し、評価の対象とする。
評価基準	平素の学習意欲（20%） 学習状況並びに試験（50%） 日頃のノート 課題の提出（30%）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席の場合は、欠席願（届）を必ず提出すること。 ・ 毎回授業開始時に確認テストを実施するので、日々の課題の消化を習慣にすること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
山下 弘			

講義概要	一刻も早く日本の生活に慣れるよう基本的会話に習熟し、まずはとりあえず日本語能力試験中級3級合格を目指す内容を扱う。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 自己紹介、近接環境の案内、必要に応じて身近な情報の提供など。</p> <p>2 初歩的内容の読解 (A) 語彙・語法の解説 (A) 基本漢字 (A)</p> <p>3 初歩的内容の読解 (B) 語彙・語法の解説 (B) 基本漢字 (B) 1分間スピーチ</p> <p>4 初歩的内容の読解 (C) 語彙・語法の解説 (C) 基本漢字 (C) 1分間スピーチ</p> <p>5 (各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (D) 基本漢字 (D) 1分間スピーチ</p> <p>6 N3程度の読解 (A) 語彙・語法の解説 (E) 基本漢字 (E) 1分間スピーチ</p> <p>7 N3程度の読解 (B) 語彙・語法の解説 (F) 基本漢字 (F) 1分間スピーチ</p> <p>8 N3程度の読解 (C) 語彙・語法の解説 (G) 基本漢字 (G) 1分間スピーチ</p> <p>9 (各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (H) 基本漢字 (H) 1分間スピーチ</p> <p>10 N3程度の読解 (D) 語彙・語法の解説 (I) 基本漢字 (I) 1分間スピーチ</p> <p>11 N3程度の読解 (E) 語彙・語法の解説 (J) 基本漢字 (J) 1分間スピーチ</p> <p>12 N3程度の読解 (F) 語彙・語法の解説 (K) 基本漢字 (K) 1分間スピーチ</p> <p>13 (各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (L) 基本漢字 (L) 1分間スピーチ</p> <p>14 新聞記事の読解 N3模擬試験</p> <p>15 定期試験にむけての復習 質問受付 (N3模擬試験)</p>
授業形態	演習
到達目標	<p>①日本の生活に必要な基本的会話と心得るべき最低限度のマナーを身に付ける。</p> <p>②とりあえず小学上級学年レベルの読解を身に付け、基本的漢字の習得に力を注ぎ、日頃の生活のより円滑な暮らしに資する。</p> <p>③日本社会に溶け込むより自然な発話能力を高め、日本人学生とのスムーズな会話を楽しめるようにする。</p> <p>④中級者全員がN3に、90点以上での合格を目指す。</p>

評価方法	受講中の意欲（質問や目の輝き）を重視し、その他、数回の小テストおよび定期試験で評価する。
評価基準	学習意欲（20%） 小テスト（30%） 定期試験（50%）
教科書・参考書	使用テキスト：開講はじめに指示する。 参考書：必要に応じて指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	